

# 広報 トピックス



〈サロモンカップかもい岳ジュニアスキー大会〉

1月3日から3日間、かもい岳スキー場でサロモンカップかもい岳ジュニアスキー大会が開催されました。全国各地から集まった延べ約1,200人の小中学生の選手たちは、アイズバーンのコースを果敢に攻め、ゴールを目指しました。



〈消防出初式〉

1月5日、公民館駐車場で平成23年の消防出初式が行われ、無火災を祈念し、分列行進や観閲式を行いました。その後、会場を公民館講堂に移して、表彰式が行われ、永年の功績に対し7人の皆さんに表彰状が授与されました。



〈新年交礼会〉

1月4日、市と商工会議所共催の新年交礼会が公民館で行われました。市内の企業や行政関係団体から出席した90人の皆さんは、新年のあいさつを交わし合い、輝かしい新たな年の幕開けを祝いました。



〈百人一首かるた大会〉

1月8日、神威児童センターで百人一首かるた大会が行われました。集まった子供たちは、難しい木札の読み方を教わりながら、真剣な表情で札を取り合っていました。



〈図書館チャレンジ教室〉

12月27日から3日間、市立図書館で絵本づくりの挑戦するチャレンジ教室が開かれました。参加した子供たちは、お気に入りの絵本を参考にしながら、オリジナルの絵本を描き、オリジナルの絵本を完成させました。

歌志内俳句会選  
会員作品

須藤 涼子  
人工弁音カチカチと雪降りぬ

佐藤 清子  
初空の気合で歩む六つの坂

高瀬 仁孝  
冬晴や今日と言ふ日を今日生き

吉岡 ゆか  
ひよどりの親子訪れ冬ぬくし

後藤 妙子  
ひとり居て「吾亦紅」聴く雪の夜

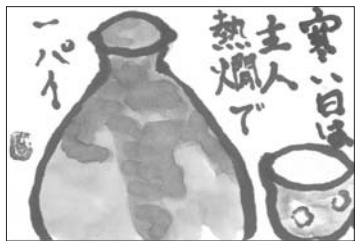
岡部 康一  
怒髪起つ厳寒の峰剣岳

石塚 トキ  
こつそりと亡夫のマフラー巻いてみる

## 市民の ひろば

俳句

■ふるさと納税  
▽佐々木 文彦さんから  
ありがとうございます  
ごじます



「寛ぎ」  
田中 順子



「無病息災」  
藤原 ミツ

「無病息災」  
藤原 ミツ

大沼 きみ  
忽然と消えし尾燈や雪をんな

勝部 貞子  
山壁も住めば都ぞ大旦

絵手紙

# うちの子も げんきです



とくなが ゆな  
徳永 結愛ちゃん  
とお母さん



文珠第二  
お父さん・遵さん お母さん・美紀さん  
長女(1歳6か月)  
お母さんのひとこと

ママごと遊びが大好きで、お兄ちゃんと仲良く遊んでいます。少しやんちゃで、きかない所もありますが、パパといっしょにおどけて周りの人を笑わせてくれる、あいきょうのある子です。このまま元気でやさしい子に育ててほしいですね。



〈子どもスキー教室〉

1月11日から3日間、かもい岳スキー場で子どもスキー教室が開催されました。スキー初挑戦の子供たちも、指導員の手助けで上達しました。

1月13日、未就園児とその保護者が対象に、幼稚園の一般開放を行いました。滑り台や積み木などの遊具で楽しんでいました。



〈幼稚園一般開放〉



〈郷土館ゆめつむぎ：もちつき&冬遊び体験〉



1月10日、郷土館ゆめつむぎで、竹スキーや雪中すごろくなどの冬遊び体験が行われました。参加した子供たちは、慣れない竹スキーに苦戦しながらも笑顔で楽しんでいました。その後もちつきを行い、つきたてのおもちをお汁粉やきな粉もちにして食べました。

## 図書館 だより

☎42~6900

### 行事

#### ■移動どうわ会

▼とき 2月4日(金) 14時30分

▼ところ 神威児童センター

▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい

#### ■移動としよかん

▼とき 2月16日(水)

▼ところ

▼文珠第二町内会館 (14時30分)

▼とき

2月17日(木)

▼ところ

▼楽生園 (14時30分)

▼給食センター (15時45分)

▼市民体育館 (16時15分)

#### 読んでみませんか?

#### 『ハーバード白熱教室講義録』

十東大特別授業 上・下

(マイケル・サンデルほか 著)

NHKでも放送され話題になったサンデル教授の講義。イチローの年俵や、代理母、裏口入

学、戦後補償など、現代人にと

『男の介護』 (吉田利康著)

#### ◆その他の新刊◆

『光媒の花』 (道尾秀介著)

『エチュード』 (今野敏著)

『だいじょうぶ3組』 (乙武洋匡著)

『マンガで楽しむ 英語擬音語辞典』 (研究社発行)

『マンガで楽しむ 英語擬音語辞典』 (研究社発行)

日本語と英語で、動物の鳴き声の表し方が違うことはよく知られていますが、雨の音や笑い声、時計の音など、いろいろな音の感じ方、表し方が違います。どんな場面でもどんな音がしているかを、楽しく分かりやすいマンガで紹介します。

『写楽 閉じた国の幻』 (島田荘司著)

つて身近な話題をもとに「正義」とは何かを論じた授業の記録です。

生まれも経歴もわからず、江戸の版元からたった10か月の間に140余りの作品を発表し、消えていった東洲斎写楽。その正体はいまだ謎に包まれています。美術史最大の迷宮入り事件に挑んだミステリー小説です。